

欠席委員（森 少子対策ワーキングチーム座長）からのコメント

1. 実施状況報告書（平成 28 年度）について

待機児童数目標の立て方を再検討する必要があるのではないかと。

現状から想定した定員拡大を行っても、利用申し込み者増加によって達成されない状況が続くと思われる。潜在的需要を推定して、最大値に比した充足率の上昇を図ることが必要。

2. KPIの見直しについて

アウトカム指標への切り替えは賛成です。

『世帯あるいは市民のモデルケースをいくつか設定し、そのケースに関する KPI の状況を把握する（指標の組み合わせに具体的イメージを持たせるため）。そして、そのモデルケースを、広報に生かす。』ことが必要。

例えば、「兵庫県では、・・・の世帯に関して、・・・等の事業を行い、・・・を達成している」ことを絵や図を用いて表すなどしてはどうか。